

アジェンダ 4 がんの進行を先制する

統合腫瘍治療による進行がんへの新たな挑戦
—標準治療後の選択肢と水素医療の可能性—



医療法人医新会 よろずクリニック
院長

萬憲彰

Kensyo Yorozu

座長 和久 晋三

日本のがん医療は、ガイドラインに基づく標準治療に偏重しており、治療の限界に直面した患者が「がん難民」となる現状がある。こうした課題に対し、当院では、RIKEN-NKT 細胞標的療法、各種温熱療法、腫瘍溶解性ウイルス療法、光免疫療法、樹状細胞ワクチン、自家がんワクチンなどを組み合わせた統合腫瘍治療を実践している。

本発表では、特殊機器を用いた局所温熱治療、水素ガス吸入、および水素発生シリコン製剤（HGEVO）の導入により、がん免疫環境の改善、副作用の軽減、治療効果の向上が認められた症例を紹介する。また、水素がヒドロキシラジカルを選択的に除去することで、がんおよび難病の治療基盤を支える可能性についても考察する。

統合腫瘍治療は、日本の閉鎖的な医療制度の枠を超え、がん治療の多様性と柔軟性を提供する革新的アプローチとして注目されており、本発表ではその具体的な臨床実践を提示する。

略歷

平成15年（2003年）産業医科大学医学部 卒業
同年、鳥取大学医学部附属病院 第二内科に入局（血液・腎臓・消化器内科などを研修）
平成16年～平成20年（2004～2008年）、済生会江津総合病院 消化器内科
平成20年～平成23年（2008～2011年）、十字会野島病院 消化器内科
平成23年10月（2011年10月）～平成30年8月（2018年8月）、よろづクリニック 院長
平成30年9月（2018年9月）より、医療法人医新会よろづクリニック 理事長

所属团体等

日本先制臨床医学会 理事（統合腫瘍治療研究部会 部会長）
国際水素医学科学研究会 副理事長
日本プロテオミクス研究会 代表理事
日本抗腫瘍／ハーブ研究会 代表理事
腫内フローラ移植臨床研究会 理事
特定非営利法人 MCW経営サポートセンター 副理事長
ステートアート㈱ 医学顧問
株式会社パナム 顧問医師
日本先端医療財団 顧問医師
銀座ステイクリニック 顧問医師

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

【メモ欄】